



第25号
2019.01

真庭商工会報



版画：每来寺住職
岩垣正道氏

目次

- 会長年頭挨拶・新会員紹介P2
- 真庭市長・新庄村長 新年の挨拶P3
- 経営支援事例P4~P7
- 専門家の声P8・P9
- 求人情報P10・P11
- 最低賃金 告知 他P12

新年のご挨拶



真庭商工会
会長 山下 豊

新年あけましておめでとーございませう。皆様にはご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は商工会の事業に格別のご支援とご協力を賜わり、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、地震や台風など大きな自然災害が多発した年でした。特に7月の西日本を中心とした豪雨は天災の少ない岡山県に未曾有の被害をもたらしました。倉敷市真備地区をはじめ県内各地で多くの方々が被災されました。真庭市に於いても幸い人的被害は無かつたものの落合垂水地区の浸水被害等会員の皆様が被災されました。改めてお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様からのお見舞い申し上げます。

さて、平成も間もなく終わろうとしております。10月からはいよいよ消費税も上がります。大きな時代の節目を迎える年となります。世界経済は、ト

ランプ大統領に代表される極端な自国第一主義により、先行き不安定さを増しておりますが、概ね堅調に推移しており、わが国経済も好調さを保持しております。他方、地域の経済は災害復旧等で需要が増えた土木建設業、自動車部品や電子機器等の部品製造業など多忙な業種もありますが、少子高齢化・過疎化の影響をまともに受ける小売業等は依然として厳しい状況が続いております。

真庭商工会では平成18年4月の合併時1900近い会員がおられました。毎年減少が続けて来ましたが、昨年3月末、合併以来初めて下げ止まりし、僅かながら会員が増えました。高齢化や事業主がお亡くなりになったことでの廃業による脱退は後を絶ちませんが、それを上回る新規創業者の加入や今まで会員でなかった事業者の方の加入があったということ。これも真庭商工会で取り組んできた創業塾の開催や経営革新計画の策定支援、マル経融資制度の推進など様々な経営支援の実績が地域の皆様に評価されたということだと自負しております。ただ、現状ではプラスマイナスゼロ、会員純増について太田真庭市長はあちこちで宣伝されておりますので、一年だけでなく、何としても二年連続して会員純増となるよう、更に商工会の持つ皆様

のお役に立つ機能を充実するとともに、そのことを広く皆様に知って頂くよう役職員一同努めてまいります。

また、今多くの事業所が人手不足で困っております。その解決の一助になればと真庭企業ガイドを発刊し、市内の高校をはじめ各所に配布いたしました。真庭地域の事業所もこんなに頑張っているんだということも多くの高校生や大学生に知ってもらい、地元に残ってもらおう、また地元に戻ってきてもらおう、よその地域からも来てもらおうという試みです。

このように会員の皆様に寄り添い、皆様の多様なニーズ・要望にお応えし、困りごと・悩みごとの解決に共に知恵を出し、汗をかいていく、そのことを今年もしっかり頑張ってまいります。皆様とともに更に元気で活力溢れる真庭を作っていきましょう。

会員皆様の今年一年のご健勝とご繁栄、更に真庭市・新庄村の益々の活性化を祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



新会員さん紹介 (受付順・敬称略)

平成30年6月〜10月

▼落合地区

達美建設
がちゃポンやき
(株)クラフトK

▼久世地区

合同会社 PORT-LAIT
ナチュラルガーデンズ
(株)岡山ウッドライン真庭出張所

▼勝山地区

(株)サンルーム中芝
咲月助産院
室内装飾 河野
indigoblu

▼美甘地区

J. D. KAWASAKI

▼湯原地区

(株)湯原御膳奉行

▼蒜山地区

レッドシダーコートージ
蒜山プロジェクト
ひらの

新年のご挨拶



真庭市長
太田 昇

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望にあふれる輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、昨年7月には、豪雨による被害が市内各地でみられ、被災された皆様にはお見舞い申し上げますとともに、復興にご尽力されておりますことに敬意を表します。

真庭商工会におかれましては、創業の促進を図る「創業塾」の開催をはじめ、各種創業支援や経営革新・新



新庄村長
小倉 博俊

新年あけましておめでとうございます。真庭商工会の会員並びに関係者の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より、地域の経済・産業の振興に多大な役割を果たされていくことに敬意を表しますとともに、村政運営に対し深くご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、本村では「まち・ひと・しごと」

事業展開支援などのほか、地域経済を牽引している市内事業者の伴走役として経済界を支えていただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、本市においては、多くの市民の皆様への参画を得て策定した「第2次真庭市総合計画」や「真庭市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの諸計画に基づき、地域資源を生かし、全ての人が存在感をもって輝く「真庭ライフスタイル」の実現を目指し、市民の皆様と共に市政を展開しております。

昨年、持続可能な開発目標であるSDGsの達成に向けた優れた取組を行う都市として、全国29都市の「SDGs未来都市」にまたその取組自体も先導的なものとして全国10事業の「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。今後は、経済、社会、環境の三側面それぞれが関わり、「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」を構築するため、「中山間地域における地方分散型のモデル地域」、「人口減少の抑制と年齢構成の偏在の解消」、さらに「地域エネルギー自

総合戦略」等に基づき、地方創生に関する各般の取組について、それぞれの目標の達成に向けて施策を進めているところで、旭川の源流に位置し、美しい水をはじめ豊かな資源に恵まれた本村では、農業や林業といった第一次産業を基盤とした地域振興が重要であると認識の下、それぞれ村民の代表者を含む関係者からなる活性化委員会を設置し、農業・林業の将来像については、委員会からの提案を受け、より具体的なテーマ毎のプロジェクトチームを設置し、新年度からの具体的な施策の実現に向けた取組を進めているところで、

観光面では昨年4月に真庭観光局が発足し、真庭地域の観光振興にも一層の発展が期待されますが、本村においても旧出雲街道の街並みを活かした街づくりのため、桜の生育環境の整備と併せ、新年度オープンを目指し、古民家を改修した宿泊施設を整備しているところで、また、関係各位のご協力もいただき昨年4月にリニューアル

給率100%」に向けた取組を強化するとともに、独自の観光事業の促進など「回る経済」を確立していくこととしております。

昨今の雇用情勢においては、有効求人倍率が示すように売り手市場で、地方でも人手不足感が更に高まり、多くの市内事業者が人材確保の問題を抱え、生産性向上を図る上で大きな課題になっております。本市では、こうした状況に危機感を持ち、「真庭市未来を担う人応援基金」を財源とした「インターンシップ奨励事業」をはじめ、昨年新たに創設した「企業説明会出張支援事業」や「ふるさと企業見学バスツアー」などを実施し、市内事業者の人材確保の支援を強化してまいります。また、生産性向上特別措置法の施行により、本市では昨年、導入促進基本計画を策定したところで、2020年度までを集中投資期間と位置づけ、中小企業が行う設備投資への支援を後押ししてまいります。

このほか、女性が活躍する社会実現に向けた取組として、先輩女性起業家を講師に

ルオープンした道の駅「がいせん桜新庄宿」においても、新商品の開発をはじめ、お客様に「層満足」いただけるよう様々な工夫を凝らしているところで、こうした取組により、入り込み・滞在人口を拡大し、がいせん桜通りをはじめとする村内の賑わい創出、ひいては地域全体の振興が実現するよう、真庭観光局とも連携しつつ取り組んでまいります。

また、学校教育は最重要課題の一つと認識しており、新年度から、これまでの「連携」を超えるものとして、小中一貫教育を実施すべく準備を進めているところで、地域に根差した特色ある教育を目指し、学校・保護者・地域が一体となった取組の充実に努めてまいります。

「ふるさと納税」については、ご案内のとおり制度の見直しに向け様々な議論がございますが、全国の皆様からのご支援を活用させていただきつつ、小中学生の学習環境の充実、村民の生活・福祉の向上など、寄付をいただいた皆様のご期待に沿った施

子育てをしながら起業への不安を解消するためのセミナー「起業女子応援Cafe」を昨年11月に開催しました。引き続き、女性の創業機運の醸成を図ってまいります。

さらに、真庭市産業サポーターセンターを中心に、地域資源を活用して新たな商品開発が進み、最近では石鹸や化粧品といった商品が誕生し注目も高まっております。今後も、特徴ある地域資源を生かした商品の開発を支援してまいります。

人口減少、少子高齢化が進む中、課題は多くありますが、未来志向で志を高く持ち、課題解決に果敢に挑戦し続けるならば、道は必ず拓かれるものと確信しております。今後も引き続き、人や企業を惹きつける「魅力ある真庭」、「未来につながる真庭」を共に築こうではありませんか。

結びに、本市商工業の発展を担う真庭商工会並びに会員皆様の益々のご繁栄とご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

策の実施に努めてまいります。おかげさまで平成28年度以降、本村の人口は社会増が続く、減少傾向に一定の歯止めがかかりつつある状況ですが、この流れを継続できるように、冒頭に掲げた戦略等の目標達成に向けて適時・適確な施策を実施することにより、小さな村ならではの特色ある地域づくりを、村民の皆様と共に全力で進めてまいります。その際には、何卒、真庭商工会の皆様方には一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本地域の振興と発展に大きな役割を担っておられます真庭商工会の更なるご繁栄と、皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



真庭商工会の 経営支援事例を紹介します

経営支援事例

真庭商工会 北房支所

BtoC 需要獲得のための経営計画作成

支援先企業概要

事業所名：志田工業株式会社
 代表取締役：志田 知之
 事業内容：一般土木建築工事業
 創業：昭和24年
 所在地：真庭市上水田2461
 従業員数：17名



▲▶社員が直接顧客に工事提案し営業を行う
 商談ルーム(LIXILリフォームショップ
 商談ルーム)

事業状況

当社は昭和24年に志田木材工業株式会社を設立、昭和51年に志田工業株式会社に社名変更し現在に至っている。長年地域で事業を営んでおり、地域内での当社の認知度や評価も高い。また多業種の建設業許可を取得しているため、業務の幅が広い。

支援の概要

当社は公共工事・BtoBを主体とした事業活動であり、拡大している民間需要に対しての効率的な営業活動を実施しておらず、同需要獲得のサービス展開が急務であると考えたことが支援の契機となった。

商工会では専門家と連携して、経営分析による同社の強み部分に着目し、従業員の技術、経験、人間性を分かりやすく理解してもらうための情報発信と消費者目線の営業活動の展開を軸にした経営計画作成と補助事業の承認の支援を実施して、平成30年6月の店舗オープンに繋げた。

支援に際しての課題

- ①公共工事やBtoB事業をが中心
- ②一般客に対する営業ノウハウがあまりない
- ③効果的な販路開拓ができていない

課題へのアプローチ

- ①見える化のため、社員の技術・知識の明確化
- ②住宅・リフォームの一般個人向け広告宣伝の強化
- ③一般向け工事受注のために直営店舗の開設



▲LIXILリフォームショップ

舟形羊羹の意匠を維持する生産設備 開発導入による生産性向上

支援先企業概要

事業所名：株式会社古見屋羊羹
 代表取締役：福島 正明
 事業内容：菓子製造販売業
 創業：明和元年(1764年)
 所在地：真庭市落合垂水199
 従業員数：17名



事業状況

現代表取締役までで九代継承。同社の主力商品は社名にもあるよう「羊羹」で、中でも「高瀬舟羊羹」はその名のおり高瀬舟を模した細長い紙容器に、一口大の羊羹が入っており、岡山県美作地方を代表する土産菓子として、県内だけでなく百貨店やスーパー、高速道路のサービスエリアなど、様々な場所で販売されている。また、洋菓子も支店にて製造販売しており、和菓子から洋菓子まで菓子専門店として地域に根差した営業を行っている。

支援の概要

同社の羊羹が地域の特産品として長期間認知されてきた一つの理由として「高瀬舟羊羹(舟形羊羹)」の存在は大きい。創業250年という長い歴史の中で得られたブランド力の源泉である舟形のパッケージ(デザイン)を維持したまま増産していくには、独自の羊羹充填設備を開発する必要があった。

また同設備の開発導入は、労務災害の危険性減少(煮詰めた羊羹は90℃以上にもなる)、製造過程で発生するロスの削減、品質の均一化、従業員の高齢化対策や新たな販路開拓を求めていく上で必要となる増産体制の確立など、業務効率化だけでなく、同社の経営課題を同時に解決できるものであり、福島社長とともにこれに取り組んだ。

支援に際しての課題

- ①製造工程の改善
- ②新たな販路の開拓
- ③従業員と後継者の育成

課題へのアプローチ

- ①ものづくり補助金の活用を通じた製造工程におけるボトルネックの解消(写真:右上)
- ②見本市「アグリフードEXPO」への出展支援(写真:左上)
- ③従業員と後継者を巻き込んだ計画策定と実行



マル経融資制度

(小規模事業者経営改善資金)

経営改善を図る小規模事業者を対象とした無担保・無保証人・低利の融資制度です。
 飲食業、理美容業など生活衛生関係事業者もご利用いただけます。

<ご融資の条件>

融資限度額 2,000万円
 返済期間 運転資金7年以内、設備資金10年以内
 担保・保証人 不要(信用保証協会の保証も不要)
 利率 1.11%(平成30年11月9日現在)

融資対象

以下のすべての要件を満たす方
 ・従業員20人以下(宿泊業と娯楽業を除く商業・サービス業は5人以下)の法人・個人事業主
 ・商工会の経営・金融指導を受けて事業改善に取り組んでいる
 ・最近1年以上、同一地区内で事業を行っている
 ・工商業者であり、日本政策金融公庫の融資対象業種を営んでいる
 ・税金(所得税、法人税、事業税、住民税)を完納している

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございます。予めご了承ください。

※この融資限度額、返済期間の取扱は、平成31年3月31日の日本政策金融公庫受付分までとなります。

地域資源のミツマタに着目した美容液開発

支援先企業概要

事業所名：株式会社エイチケイ商会
 代表取締役：内藤貴嗣
 事業内容：燃料小売、自動車整備、
 米穀等卸他
 創 業：昭和31年
 所 在 地：真庭市久世2512-12
 従業員数：12名



▲通販サイト「47CLUB」で「こんなのあるんだ大賞2018」グランプリを受賞!

事業状況

当社は、真庭市久世でガソリンスタンドを経営しており、現代表者で7代目である。地元では古くから営業しており老舗企業として信頼と知名度を有している。

支援の概要

人口減少・自動車の性能向上などガソリンスタンドを取り巻く環境が厳しくなっている中、同社社長の内藤靖史氏が、真庭市の伝統産業である和紙づくりの工程を目にした際に、和紙職人の手が綺麗で保湿されている点に注目し、原料のミツマタには何かあるのではないかと考えたことがきっかけで美容液の開発が始まった。

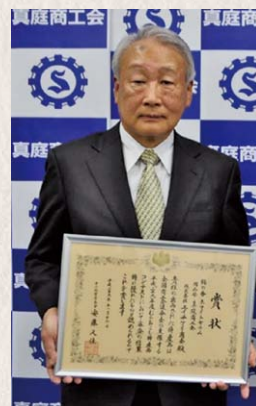
商工会ではこの新商品の開発から販売までの課題を専門家や関係機関との連携により解決し、世界で初めてミツマタエキス配合の美容液「結の香ホワイトセラム」の商品化に結び付けた。

支援に際しての課題

- ①商品化(安全性の証明、製造、パッケージデザイン等)
- ②開発費の確保
- ③販路開拓

課題へのアプローチ

- ①計画経営の支援(経営革新計画)
- ②補助金の活用支援(真庭市地域資源活用事業支援金等)
- ③専門家を活用した販売戦略の策定支援



◀平成29年度むらおこし特産品コンテストで「中小企業庁長官賞」受賞

真庭市起業支援事業補助金

真庭市内で起業される方を対象に、起業にかかる各種費用に対し最大100万円の補助金が受けられます。内外装工事費用、機械購入費用、ホームページ制作費や広告料等が補助対象費用となります。

更にまにわ創業塾等を受講された方は、補助の上限が100万円から150万円に拡大されます。

尚、上記補助金制度は平成30年度の情報であり、年度により変更となる場合がございますので、申請をお考えの方は必ず真庭商工会までお問い合わせください。